

病院スタッフに、利用者に、安全と信頼をもたらした －「医療環境（ミナス州パトロシニオ市）整備」のその後－

パトロシニオ市はミナスジェライス州の州都ベロオリゾンテ市から西に405km離れたところに位置する人口8万5千ほどの街です。ここには2つの私立病院があるものの、いずれも有料であり、低所得者層の利用には不向きです。同市で唯一、ブラジル統一保険制度（SUS）利用者が無料で診療を受けられる病院がパトロシニオ聖マリア慈善病院です。この周辺地域で高度な手術や治療を無料で受けられるのはこの病院だけであることから、パトロシニオ市のみならず近隣8市から多くの人と同病院を訪れています。

この病院では、月に平均230回ほどの手術が行われており、多くの手術器具の洗浄殺菌が必要とされています。ところが、以前の同病院医療器具殺菌センターでは、殺菌器はあるものの、洗浄器がなく、殺菌の前工程である洗浄作業は全て手作業で行われていました。洗浄作業にあたる作業員は、手術使用直後の器具を一つ一つ手で洗っていましたが、鋭利な器具もあることから、手でも怪我をしようものなら感染症に冒されるかもしれないという恐怖感に苛まれながら、作業をしてきたのです。また、効率性の観点からも、また、院内感染発生のリスクといった衛生面の観点からも、問題がある状況といえました。

そのような状況ながらも、同病院は慈善病院であるために高額な医療器具用洗浄器を購入できるような余裕はありませんでした。そこで、2011年12月、日本政府が資金を提供し、同病院は熱消毒式の洗浄器を購入することができました（[医療環境整備計画](#)）。



洗浄器購入から4年近く経った2015年12月、フォローアップのために当館館員が同病院を再び訪れました。約100人の医師を含めた約500人のスタッフがおり、また、160の病室があり、とても慈善病院とは思えない規模です。施設内部も、白い壁に採光がうまく取り入れられて、とても明るく、清潔な印象を受けます。

医療器具用の洗浄器は一般利用者の目には触れるものではありません。普通ならば病院関係者がありがたいと思ってそれで終わってしまうことです。しかしながら、病院の入口の受付付近には日本の協力を表すプレートが貼られており、利用者に対して日本が病院の環境改善に貢献したことを分かりやすく示しています。



記念プレート

熱消毒洗浄器を用いて、1日に平均5回ほど洗浄作業が昼夜を問わず行われます（1回あたりの作業時間は1時間30分程度）。もちろん作業は全自動。医療器具を入れたケースを洗浄器の中に入れれば作業は洗浄器が行いますので、手術で使用した直後の器具によって怪我・感染をするリスクは格段に少なくなりました。

洗浄後の器具は布で水分を拭き取り、完全に乾くまで寝かせておきます。その後、既存の殺菌機で殺菌消毒し、目的・使用場所ごとに分別して保管します。保管の際には、器具名、使用場所、洗浄殺菌を行った日付け、追跡番号等を記載したシールを貼り、他の器具等と混在しないよう管理を徹底しています。器具によっては長期間使用せずに保管するものもあり、再度の消毒が必要になるものもあるため、このような管理が有益となります。



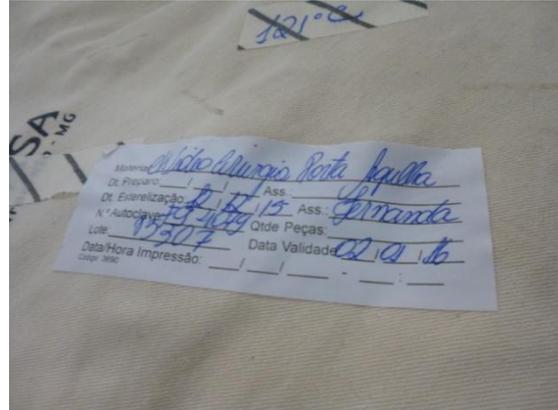
供与した熱消毒洗浄器



洗浄中の様子



洗浄消毒後の保管庫



管理用のシール

手作業をしていたときは一度の洗浄作業時間が4時間ほどかかっていたものが、現在は1時間半程度に短縮されています。実は、洗浄する器具の数を、洗浄器購入前と現在とで比較すると、現在は数が1.5倍ほどに増えています。これはどういうことかということ、以前は手術器具のみに限って洗浄作業をしていたのですが、それ以外の医療器具にも対象を広げたためだそうです。作業時間が飛躍的に短縮して時間に余裕が生まれ、なおかつ安全性も向上したことから、このようなことが可能になったのでしょう。結果的に、院内の衛生環境にとって、質的のみならず量的にも向上が図られたこととなります。

病院関係者からは、「以前、作業員は感染症の危険性におびえながら作業をくり返しており、安全面のみならず精神面でも負担が大きかったが、今はそのような事態は解消された。」「器具を使う医師達も、衛生環境が向上し、自分たちが使用する器具に自信を持って治療にあたることができるようになった」、「利用者にとっても入り口の記念プレートを見たり、医師からの説明を受ける中で洗浄器等による衛生管理の徹底を知ることによって、安心感と病院への信頼感が向上した」との声が聞かれます。日本の支援が、直接の作業従事者のみならず、医師や来院者に対しても安心と信頼感を生む結果となったのです。

今回の訪問時には、4年前の資金供与時にはなかった人工透析病棟もできていました。患者にとっては辛い透析治療。少しでも気持ちを和らげようと、壁にはテレビや絵をかけて負担軽減に努めています。また、同病院には立派な新生児集中治療室も備わっています。パトロシニオ市はミナスジェライス州の中でも医療の先進的なモデル地域とされており、パトロシニオ聖マリア慈善病院が、その中心的役割を果たしています。



新生児集中治療室



人工透析病棟内



医療器具殺菌センターのスタッフ



病院関係者